文書記号番号	平成 22 年度 動衛 第22053105 号	分類番号	520101
決裁委任事項番号		保存期間	5 年

接受年月日	平成 22 年 5 月 31 日	文書管理担当者印	記事 ※口蹄疫緊急病性鑑定
登録年月日	平成 22 年 5 月 31 日		
起案年月日	平成 22 年 6 月 1 日	[redacted]	
決裁年月日	平成 22 年 6 月 1 日		
施行年月日	平成 22 年 6 月 1 日		
完結年月日	平成 22 年 6 月 1 日		＊別紙(写)として案１を添付

件名	病性鑑定依頼について（回答）

所長 [redacted]

動物疾病対策センター長 [redacted]

疫学情報室長 [redacted]

疾病診断室長 [redacted]

企画管理部長 [redacted]

審議役 [redacted]　研究調整役 [redacted]

管理課長 [redacted]　庶務チーム長 [redacted]　庶務 [redacted]

業務推進室長 [redacted]　調査役 [redacted]

企画チーム [redacted]

運営チーム [redacted]

交流チーム [redacted]

伺い

平成２２年５月３１日付けをもって、[redacted]から依頼のあったこのことについて、案１～３のとおり施行してよろしいか。

担当係等	交流チーム	起案者	[redacted]	内線番号	7899

農業・食品産業技術総合研究機構起案用紙（甲）

案1

22動衛第22053105号
平成　　年　　月　　日

[redacted]　あて

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所長

病性鑑定回答書

平成２２年５月３１日付けをもって依頼のあった病性鑑定について、別紙のとおり回答します。

案2

22動衛第22053105号
平成　　年　　月　　日

[redacted]　あて

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所長

病性鑑定回答書

このことについて、別紙（写）のとおり回答したのでお知らせします。

案3

22動衛第22053105号
平成　　年　　月　　日

農林水産省[illegible]
消費・安全局動物衛生課長　あて

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所長

病性鑑定回答書

このことについて、別紙（写）のとおり回答したのでお知らせします。

別紙

1．動物種

当該牛1頭

交雑種、肥育牛、[redacted] 個体識別番号：[redacted]

2．材料

搬入材料

当該牛上唇内側潰瘍部1検体、当該牛扁桃1検体、同居牛プロバング材料5検体、同居牛血清5検体

検査材料：

a)当該牛上唇内側潰瘍部乳剤および扁桃乳剤を混合し遠心し上清としたもの

b)同居牛プロバング材料を遠心し上清としたもの

3．検査目的

当該牛が[redacted]を示し、後に死亡した。解剖した結果、[redacted]が観察され、[redacted]が認められた。[redacted]が多数散見されたこと、本農場が[redacted]より2010年4月20日導入していたことから、口蹄疫の可能性を否定できず、農林水産省および[redacted]が病性の決定を行う上の検査を動物衛生研究所海外病ユニットにて実施した。

4．検査方法

①RT-PCR

検査材料a)およびb)を用い、RNAを抽出し、3D領域（RNA依存RNAポリメラーゼ）のプライマーセットを用い、口蹄疫ウイルスの遺伝子の検索を行った。

3D領域は7血清型間で遺伝子配列が高度に保存されており、本プライマーセットで7血清型が検出可能である。

5．検査結果

①RT-PCR

検査材料a)およびb)で口蹄疫ウイルス特異的なサイズのバンドは確認されなかった。

6．考察

[redacted]

(海外病ユニット)

病性鑑定回答書

研究管理監 センター長	チーム長 室　長	ユニット長	担当者	材料到着	22 年　5月 31 日
[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	材料引渡	22 年　5月 31 日
				検査終了	22 年　6月　1日

検査依頼機関名：[redacted]

動衛研の文書番号：　22動衛第22053105号

1．動物種

当該牛1頭

交雑種、肥育牛、[redacted] 個体識別番号：[redacted]

2．材料

搬入材料

当該牛上唇内側潰瘍部1検体、当該牛扁桃1検体、同居牛プロバング材料5検体、同居牛血清5検体

検査材料：

a)当該牛上唇内側潰瘍部乳剤および扁桃乳剤を混合し遠心し上清としたもの

b)同居牛プロバング材料を遠心し上清としたもの

3．検査目的

当該牛が[redacted]を示し、後に死亡した。解剖した結果、[redacted]が観察され、[redacted]が認められた。[redacted]が多数散見されたこと、本農場が[redacted]より2010年4月20日導入していたことから、口蹄疫の可能性を否定できず、農林水産省および[redacted]が病性の決定を行う上の検査を動物衛生研究所海外病ユニットにて実施した。

4．検査方法

①RT-PCR

検査材料a)およびb)を用い、RNAを抽出し、3D領域（RNA依存RNAポリメラーゼ）のプライマーセットを用い、口蹄疫ウイルスの遺伝子の検索を行った。

3D領域は7血清型間で遺伝子配列が高度に保存されており、本プライマーセットで7血清型が検出可能である。

5．検査結果

①RT-PCR

検査材料a)およびb)で口蹄疫ウイルス特異的なサイズのバンドは確認されなかった。

6．考察

[redacted]

動衛第22053105号
平 22.5.31 成
動物衛生研究所

病性鑑定依頼書

平成22年　5月　31日

独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構
動物衛生研究所長　殿

[redacted]

下記のとおり病性鑑定を依頼します。

記

1. 動物種（品種、性別、個体識別番号等を含む。）
   交雑種　肥育牛 [redacted]
   個体識別番号：[redacted]

2. 鑑定材料（種類、数量を含む。）
   当該牛：病変部分（上唇内側潰瘍部分）1検体、扁桃1検体
   同居牛：プロバング材料　5頭分　及びそれらの血清5頭分

3. 鑑定目的
   口蹄疫の診断

4. 発生状況
   別紙のとおり（別記様式2を添付）

5. 連絡先
   [redacted]

6. その他特記事項

動物衛生研究所
受
22.5.31
付
企画管理部管理課

不明疾病、現地調査表（電話報告用）

[redacted]

1. 報告者
   氏名：[redacted]　　年月日：平成22年　5月　31日　午後4時50分
2. 家畜所有者
   氏名：[redacted]
   住所：[redacted]　　（電話番号：[redacted]）
   畜舎の所在場所（家畜所有者の住所と異なる場合）：[redacted]
3. 現地調査の時間：平成22年　5月　31日　午後7時　００分
4. 飼養頭数：1,427頭（[redacted]）
   （乳用牛、肉用牛、豚等の畜種別、繁殖、育成又は肥育等の用途別に報告する。）
5. 病畜頭数（畜種別、用途別、個体識別番号等）：1頭（交雑種肥育：[redacted]　個体識別番号：[redacted]）
6. 病歴、症状、病変の大要：
   [redacted]同日、診療獣医師より家畜保健衛生所に病性鑑定の依頼が入る（午前11時頃）。[redacted]病性鑑定を実施。[redacted]を認めた（午後4時50分頃）。
   なお、当該農家は[redacted]家畜保健衛生所職員による臨床検査を3回実施（1回目：4月20日、2回目：4月27日、3回目：5月10日）し、異常がないことを確認済。
7. 診断：[redacted]のPCR検査を実施中
8. 病性材料の採取※：ウイルス用（当該牛：病変部分1検体、扁桃1検体　同居牛：プロバング材料5検体および それらの血清5検体）
9. 当面の措置状況：搬入された家畜保健衛生所の敷地の消毒の実施。当該家畜を診療した獣医師および搬入を行ったJA職員の待機を指示。また、当該農家に自宅待機を指示。
10. 過去21日間の当該農場における家畜の移動：移出
    移入
11. 給与飼料の種類、産地等：
12. 残さ物給与の有無、内容：
13. 最近の海外渡航者の有無：無・有（国名、渡航目的　　）
    最近の海外からの物品の有無：無・有（国名、渡航目的　　）
14. 過去7日間に接触した者の有無：立ち入った獣医師、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商等
15. 畜主の管理する他の畜舎：[redacted]
16. 付近の畜産農家の有無：[redacted]
17. 出荷先：[redacted]
18. 発生の原因※：[redacted]
19. 殺処分予定頭数※：
    死体処分方法：焼却、埋却、その他（　　）
20. その他参考となる事項：
    都道府県畜産課からの指示事項：

[redacted]病性鑑定牛

平成２２年５月３１日（月）

○[redacted]

飼養頭数　１，０００頭
[redacted]

○病性鑑定依頼
北西部支所より病性鑑定牛の電話連絡　１０時半頃
NOSAI 獣医師より当該牛について聞く　１１時頃
[redacted]

○搬入
H
到着　１５時頃

○当該家畜
Ｆ１肥育牛
個体識別番号：
[redacted]

【検案書】検案書
[redacted]
抗生剤、ジメトキシン、整腸剤など治療を続ける
[redacted]

【剖検所見】
[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]